

科学研究費助成事業（基盤研究（S））研究進捗評価

課題番号	16H06305	研究期間	平成28(2016)年度 ～令和2(2020)年度
研究課題名	新規測定法によるHOxサイクルの 精密解析とオキシダント・エアロ ゾル研究の新展開	研究代表者 (所属・職) (平成31年3月現在)	梶井 克純 (京都大学・大学院地球環境学 堂・教授)

【令和元(2019)年度 研究進捗評価結果】

評価	評価基準	
	A+	当初目標を超える研究の進展があり、期待以上の成果が見込まれる
○	A	当初目標に向けて順調に研究が進展しており、期待どおりの成果が見込まれる
	A-	当初目標に向けて概ね順調に研究が進展しており、一定の成果が見込まれるが、一部に遅れ等が認められるため、今後努力が必要である
	B	当初目標に対して研究が遅れており、今後一層の努力が必要である
	C	当初目標より研究が遅れ、研究成果が見込まれないため、研究経費の減額又は研究の中止が適当である
(意見等)		
<p>本研究は、OHやHO₂反応性測定の精度向上等を基に、数値モデルで予測されるオゾンや二次生成有機エアロゾルの過小評価の原因解明を目指すものである。</p> <p>研究の進捗は順調で、研究計画に設定されていた5項目について、3グループで9つのサブテーマで実施することにより、着実に研究成果を上げている。特に、HOx反応性計測装置の精度向上で、エアロゾルによるHO₂の取り込み係数の観測に成功したことは、研究の進捗に大きな前進をもたらしている。従来の数値モデルによるオキシダントやSecondary Organic Aerosols (SOA)の過小評価の原因を、3グループの研究成果を統合することで明らかにし、更なる新たな知見を加えたモデル構築により、大気質の変動予測精度を向上させることで、社会に還元できるアウトカムが生まれることを期待する。</p>		